

# 篠崎第三小学校応援団実践報告書

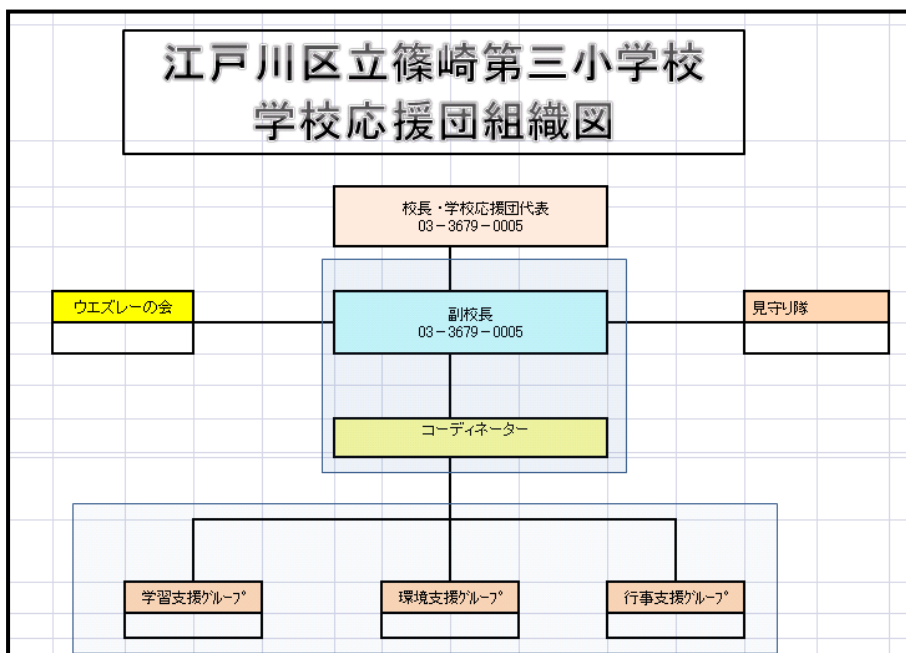
## 1 校長及び代表氏名

篠崎第三小学校長 細木 隆  
代表 石塚 三郎  
コーディネーター 井上 伸也

## 2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
登下校の見守り	見守り隊	○登下校時の安全を見守る。 ○通学路・交差点で登下校の安全を見守る。
学習支援	学習支援グループ	○校外学習の付き添い及び安全の見守りをする。 ○ミシン学習の支援及び安全の見守りをする。 ○特別支援学級の児童が共同学習をするときの支援をする。 ○特別支援学級と4年生にお琴の学習の支援をする。
行事支援	行事支援グループ	○持久走記録会の安全確保を支援する。 ○書初め大会の支援をする。
環境整備	環境整備グループ	○学級園（花壇）の整備をする。
読書活動	ウエズレーの会	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。 ○月ごとに学級の本の入れ替えをする。 ○お話会を行う。

## 3 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

- 学校応援団の方々が毎日登下校を見守ってくださったおかげで、安全に登下校ができた。
- 校外で学習する時に付き添っていただき、安全を確保できた。
- 家庭科のミシンを使う学習では、個に応じて対応していただき安全に授業が進められ、児童は満足する作品を仕上げることができた。
- 通常学級との共同学習を行う時に、特別支援の児童に応援団の方が付き添ってくださったおかげで、特別支援の児童は、安心して学習に参加できた。
- お琴の学習を支援していただいたおかげで、児童はお琴の技能が上達した。また、お琴をお借りでき、全員が体験することができた。
- 持久走記録会や書初め大会のお手伝いをしていただき、円滑に進行できた。
- 学級園がいつも整備され、学校が整備された。
- 定期的に本の読み聞かせをしていただいたり、本を修理していただいたりして、児童が本に親しむようになった。
- 各グループの代表者を明確にしたことによって、学校応援団を活用する時に連絡が円滑になった。

### <課題>

- 学校応援団員の人数確保
- 教員と学校応援団との打ち合わせ時間の確保

## 5 コーディネーターより

本校応援団の活動も3年目を終えようとしていますが、活動として安定してきたものと、そうでないものが明確になってきました。学校応援団スタート以前から活動していたウエズレーの会の皆さんや見守り隊の皆さんによる登下校の見守りは、順調に継続して行っています。

学校応援団として地域の皆さんに参加していただいて始めた支援でも、持久走記録会や書初め大会等の行事支援と校外学習時の付き添い、はこべ学級児童の支援、家庭科での実習授業の支援などは、安定的、継続的に活動できるようになりました。また、今年度始めた花の植栽や花壇整備の活動も定期的に活動できるようになってきました。

一方、協力者の不足でなかなか最初の一步が踏み出せないことも多く残っています。定着し継続した活動をするため、また、より広い範囲に拡大した活動をするためには、大勢の協力者が必要であることを痛感しており、一人でも多くの地域の方々に理解し参加していただけるようPRを続けるつもりでいます。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団を立ち上げる前から、保護者の方を中心とした読み聞かせや図書室の環境整備、地域の方々の登下校の見守りなど、保護者と地域の方々が子供たちの健やかな成長のために汗を流してきていました。

そして、一昨年から学校応援団を立ち上げました。今年度も、学習支援や学校行事の支援、特別支援学級の授業や個々の支援、また、ウエズレーの会の皆様による読み聞かせや、見守り隊の皆様による登下校の見守り等々により、子供たちが生き生きとそして安全に学校生活を送ることができました。

これらのことを通してより「地域と共にある学校」「地域を愛する児童を育てる学校」にしていきたいと考えております。

最後に、いつもご協力をいただいている皆様に心より感謝を申し上げます。